

その今と昔

〈 1 〉

家集団会員の公納久光さんが描きます。旧袋川、千代川、天神川、大路川、(新)袋川にかかっている主な橋を取り上げます。

ことしの表紙のテーマは、「橋—その今と昔」です。

市民生活になじみの深い橋の今昔を紹介します。執筆は市史編さん室嘱託の田中貢さんで、絵は現在の橋を鳥取美術



若桜橋

斬新なデザインで注目

明治四十年ごろの「若桜橋」



引っかかり、水がせかれるためである。

袋川が掘られたときにかけられた五つの橋は「藩橋」であった。藩が管理し、藩が修復する橋である。しかし、橋が皆流れたからといって、藩は財政的にすぐそれに対応できる程裕福ではなかった。いきおい富裕な商人などの協力をたのむことになる。

右洪水ニ付袋川筋御橋流落世上差支之趣相聞へ候ニ付、早速仮橋懸申度段奉願、玉屋助左衛門・秋里屋権兵衛并ニ祖父平左衛門、右三人申合三ヶ所懸申候。(舊功書ニ安政五年ニ県立博物館蔵)

寛政七年(一七九五)の洪水のときのことである。この三人は仮橋をかけただけでなく、この直後五カ所の本橋を架けている。藩からは褒美に御紋付御帷子(おごんず)を頂戴し、「御国産根取役」なども仰せ付かり、苗字御免の待遇も受けるのである。

若桜橋は近代に至って「きく橋」とも呼ばれたことがあった。現在の橋は昭和三十年に竣工され、欄干は、彫刻家山本兼文氏のデザインで、その斬新さには、当時の県外客なども目をみはったものである。

文・田中 貢

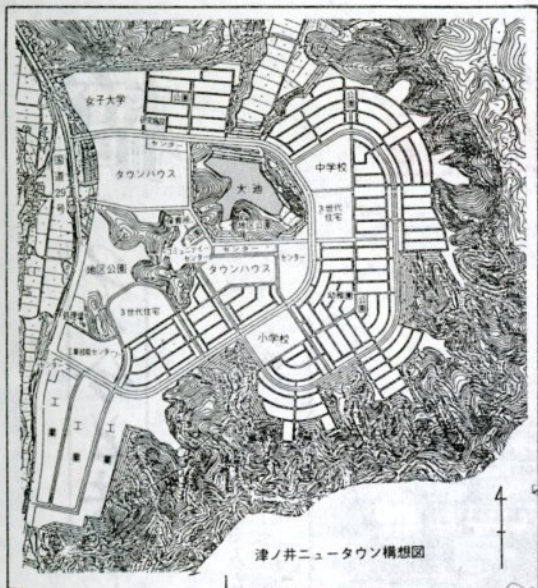
絵・公納 久光

(鳥取美術家集団会員)

人口1万人の街づくり

津ノ井ニュータウン構想

完成は65年度 女子大学、工場も立地



来年度にも調査開始

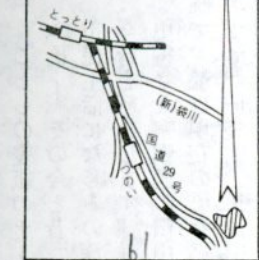
市は、二十万都市構想の一環として、津ノ井地区南部の丘陵地帯に津ノ井ニュータウンを計画、地方都市整備を目的とした地域振興整備公団に要請して鳥取新都市開発整備計画構想をまとめています。

このニュータウン構想では、周辺の自然環境と調和させ、住宅、学園、ショッピング・レクリエーション施設、工場などの機能が適切に配置された総合的な街づくりを目指しており、ニュータウン整備により津ノ井地区はもとより市全体に活力が満ちあふれるような開発を計画しています。開発予定区域面積は約二百二十五畝、五十六年度事業開始で完成は十年後の六十五年年度を予定、総事業費約二百二十億円で、

学園区、工業区、地区センター区、公園、道路などに分けられています。住宅区は、独立分譲住宅二千戸、公的住宅・タウンハウス五百

人口十万人の街づくりを進めていくことにしています。ニュータウンは住宅区、市など関係団体の協力で建設が進められていきます。計画では、五十六、五十七両年度で調査、設計を行い、五十八年度から造成工事に切り掛かり、六十年年度から宅地分譲を開始する計画になっています。

北側の大池周辺の松林を残した散策の森を中心に、運動施設のあるニュータウン公園や児童公園が計画されています。道路では、幹線道路は幅二十五以上の環状線を軸に、歩行者専用道路も計画されています。このニュータウン構想は、今後、市民のみなさんの意見、要望を取り入れてまとめられ、地域振興整備公団が主体となって、国、県、市など関係団体の協力で建設が進められていきます。計画では、五十六、五十七両年度で調査、設計を行い、五十八年度から造成工事に切り掛かり、六十年年度から宅地分譲を開始する計画になっています。



2基金を創設

国体開催と体育施設整備へ

市は十二月十九日、新しく「第四十回国民体育大会開催基金」と「市体育施設整備基金」を設けました。国体開催基金は、昭和六十年に本市などで開催予定の第四十回国民体育大会の受け入れ競技準備と大会開催に備えるためのもので、八千万円を積み立てました。また、体育施設整備基金は、市民総スポーツ振興に役立つ体育施設の整備充実を図るためのもので、六千万円を積み立て、将来、千代テニス場コート増設、海洋センターのテニス場と多目的グラウンド整備、美保運動公園整備に充てる計画です。

施設整備基金(同)に二千二百万円、市図書整備基金(五十四年九月設定)に二千万円をそれぞれ積み立てました。なお、本市で開催される国体競技は、陸上、体操(新体操、剣道、軟式野球(成年男子)、軟式庭球、バスケットボール(成年男子、成年女子)、クレー射撃、ライフル射撃センターファイアーピストル)の八種目と公開競技のスポーツ芸術です。

下水道使用料金等審議会

29%引き上げ答申

適正な下水道使用料金について審議していた市下水道使用料金等審議会(富本勇会長)は、十一月二十七日、「使用料金の値上げはやむを得ない」として、平均二九・四%の引き上げを答申しました。引き上げ理由は、電力料金値上げなど諸物価の高騰などで維持管理費が増えたため、改正時期は四月一日が適当だ、としています。

建設部を2部に

市の機構改革

市は、十二月十日付で一部機構改革を行い、建設部を建設部と土木部に分割しました。これは、当面の緊急課題である鳥取空港ジェット化整備に伴う業務をより積極的に進めていくと、実施したもので、計画開発部門と事業実施部門に分けました。建設部は計画課、開発課、空港対策室で、土木部は土木課、建築課でそれぞれ構成されます。これらで、市長部局の機構は六部二十六課・室・所となりました。



金田市長(右)に提言書を手渡す鶴田憲次・市政懇話会会長

市政懇話会

胃ガン検診などで提言

市政懇話会(鶴田憲次

会長・委員四十七人)が

十二月十三日「五十五年

度鳥取市政への提言」を

金田市長に報告しました。

五月から延べ十一回の会

議を開いて協議した内容

を取りまとめたもので、胃

ガン検診、市立図書館、六

十年国体、青少年の健全

育成など市民に身近な十

七項目を提言しています。

「胃ガン検診」については、現

在、県保健事業団の実施している

検診車に加えて、市内の基幹病院

の協力により検診人口の増大を図

ることを提言。「市立図書館」に

ついては、蔵書の充実を図ると

もに、自動車文庫の配備と公民館

図書室の整備を要望しています。

また「六十年国体」に関しては、

関連施設を早期に整備して大規模

大会を開催し大会運営に習熟する

必要を述べるとともに、鳥取空港

のジェット化と二の丸三階櫓の再
建を国体までに実施できることを
希望しています。

「青少年の健全育成」について

は、最近の青少年の不良化と暴力

問題を指摘し、その健全育成のた

めに学校、事業所、地域を通じて

の啓発を強く訴えています。また、

五十四年度から継続協議されてい

る「合成洗剤」については、合成

洗剤が川や池を汚染するだけでな

く人体にも悪影響を及ぼすことを

考慮して、一層積極的に取り組む

よう望んでいます。

懸案の「県民会館」については、

文化的にはもちろん、全国規模会

議の開催のためにも五、六千人収

容できる会館の建設を強く要望し

ています。

このほか▽市民会館▽地元産業

の振興▽駅南開発▽新しい商工会

館▽花見橋通り▽市民公園▽主婦

の被害▽観光問題▽総合臨海セン

ターマ大樹荘—についても提言

しています。

なお、市政懇話会は四十六年か

ら実施、市民各層の代表約五十人

が市政のあるべき姿や方向を専門

的な立場で論議して、市長に提言

11月の課題など

～去年は前進した年であった～

新しい年をお元気で迎えたい。よりです。ことしも多幸な年でありたい。

新鳥取港が完成したらその第一の出港船として中国向けにわが社製品を出荷する、と去年暮れに私を訪ねた三洋製紙(古市)井川社長は新鳥取港の早期完成を待っていると言っていた。正月にふさわしい、たのしい話だ。

昨年、新聞社から、初夢の決意を求められ、「新しい企業を二つか三つぜひ誘致したい」と語った。ところが図らずもこれが実現した。こんな喜ばしいことはない。すなわち電子部品生産の大和真空工業所、スポーツ用品の大手のアシッ

クス、新新聞社から、初夢の決意を求められ、「新しい企業を二つか三つぜひ誘致したい」と語った。ところが図らずもこれが実現した。こんな喜ばしいことはない。すなわち電子部品生産の大和真空工業所、スポーツ用品の大手のアシッ

市政雑感



金田裕夫

も軌道に乗った。その他、大企業の営業所
の設置など経済的に前進した年であった。
しかし、一方冷夏で農作物はかつてな
い被害を受け、農業問題が転作ともから
み深刻さを増した。なんとしても農家が
安心して農業が営み得るよう農業政策の
確立が急がれる。

さて、ことは過去の課題を解決し、
より飛躍した年でありたい。企業誘致に
ついても去年に引き続き努力し、ぜひと
も新しい成果をあげるよう全力を傾けた
い。次いで懸案の津ノ井ニュータウン

についてであるが、ようやく地域整備公
団の手によって構想がまとまった。この
発端は、地元生山の人からのわれわれの
利益につながる開発を、との要請による
ものだが、ことは実施設計に入るなど
軌道に乗せたい。その際、肝要なことは

開発が往々にして陥りがちな「開かれた
地は栄えたが、旧部落は土地を失い寂れ
た」ことがあってはならない。この開発
は都市づくりのニューリーダーの黒川紀
章氏の示唆で、外延的拡張より近郊適地
の丘陵地などにニュータウンを造成すべ
きだと確信し、各方面に働きかけようや
くこまでこぎつけた。感慨無量である。
人間の理想的生活環境を目指すこの計画
の早期完成に全力を尽くしたい。
また、鳥取空港のジェット化整備を六
十年国体にぜひ間に合わせたい。正式着
工できるよう地元の了解など全力を傾け
たい。本年早々の最大の課題である。今
の見通しでは、工程などから六十年整備
完了がギリギリである。その他にもやる
べきこと枚挙にいとまがない程だ。がん

(市長)

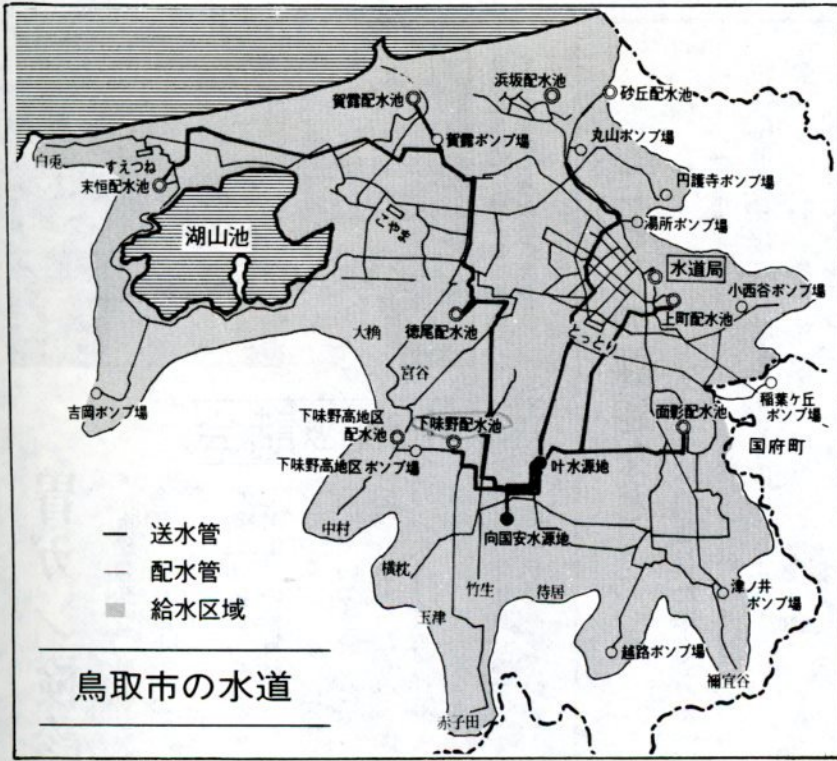
鳥取市の公営企業

①

全国的に地方公営企業は、赤字で苦しい経営を強いられています。本市でも同様で、水道局、市立病院、国民宿舍砂丘荘の三つの公営企業も厳しい経営状態に置かれています。今月号から公営企業の現状を紹介していきます。第一回は水道局。

7 拡で水源確保

水道は、私たちが明るく健康で文化的な生活をいとむためには、欠かすことのできない大切なものです。水道局は、二十万都市構想に基づく将来の水需要を検討して、水源の確保を中心とした第七回拡



水道局 豊かな水を送り続ける

張工事を、四十九年度から五十四年度までの六カ年継続事業として施工しました。

主な新しい施設は、

一日六万立方メートル(市役所庁舎の約二・五倍)の取水能力のある向国安水源地、送配水管を乗せた千代川水管橋、各水道施設の監視と調整を行うコンピューター装置、塩素やカセイソーダの薬品注入設備、容量一立方メートル(小学校の二十五分プールの二十五杯分)の上町配水池(改築)などで、このほか配水管網の改良工事も実施しました。総工費は、三十四億六千立方メートルの水を市民のみなさんのところへ送り届ける施設になりました。しかし、近年の水需要は、

伸び悩む使用量

このように、水道施設の拡張整備により、現在では一日十二万六千立方メートルの水を市民のみなさんのところへ送り届ける施設になりました。しかし、近年の水需要は、



7 拡事業の千代川水管橋

●その始まりは...

水道の給水開始は、六十五年前の大正四年十月のことです。山陰道における近代上水道の草分けで、美敷に水源地を置き、五万人に給水。昭和九年から千代川の伏流水を取水する方式に切り替えて拡張事業を進めてきました。

五十三年度の一 日最大配水量七 万一千九百立方 メートルをピークにそ の後伸び悩み、 去年の夏には、 私たちの水道は、これらの問題 をかかえ、厳しい経営環境に置か れていますが、この大切な水道を 守り、断水のない水道として、い つでも安心して飲んでもらえる水 を日夜休みなくみなさんの家庭や 事業所などへ送り出しています。

1人1日平均配水量の推移

(55年度は見込み)

年度	配水量	前年比(△は減)
50	460%	-
51	450	△ 10%
52	441	△ 9
53	444	3
54	425	△ 19
55	400	△ 25

マイカー自粛推進など答申

市交通対策審議会



金田市長(右)に答申書を手渡す船越堅一・市交通対策審議会会長

去年十月八日に交通諸問題について諮問を受けていた市交通対策審議会(船越堅一会長、十九人)は、同年十二月十三日、審議結果をとりまとめて、①マイカー自粛の住民運動の強力な推進②市内回りのバスを廃止③市内循環バスの根本的な改善④代替バスの廃止の四点について金田市長に答申しました。

今回の答申は、マイカー自粛に伴う市内回りバス、市内循環バス問題に焦点をあてており、鳥取駅前前の合同バスターミナル完成(八月予定)の時点を目標にして意見がまとめられています。答申のあらましは次の通りです。

【マイカー自粛運動の推進】千代大橋の開通、幹線道路の整備、県警交通管理センターの運用開始などで交通環境の整備は大幅に前進している。しかし、マイカー自粛運動は今後も推進する必要がある。省エネルギー対策としても実施し、通勤、レジャー、買物などには、できるだけ鉄道、バス、自転車などを利用するよう、強力な市民運動を展開すべきである。

【市内回りバスの運行】交通渋滞緩和やバスの効率的運行などのため、五十四年七月から、市内循環バスを運行させ、市内回りバスは全面廃止したが、後に利用者からの強い要望などもあり、手直しが行われ、一部市内回りをしている。しかし、バスターミナル完成後は、郊外線の市内回りは基本的には廃止すべきだと思われる。なお、代替策として、郊外からバス

主な仕事としては、屋外の軽易な作業、筆耕、簡単な大工仕事、集金、得意先回り、室内での手先の仕事、一般事務、

【市内循環バスの運行】現在の市内循環バスは、運行経路、運行時間帯など、利用者にとって不都合な面が多い。今後、バスターミナル完成時点までには、利用者の要望などを聴き、両バス会社と十分協議し、運行経路、運行時間帯など便利な方向に根本的に改善すべきである。

【代替バス対策】不採算路線として廃止された三山口線と細見線について、地域住民の要望により、五十三年四月から市が代替バスを運行している。しかし、マイカー利用、乗り継ぎ不便などで、利用者は当初計画を大きく下回り、年々利用者が減少している。現在、一般市費の投入によって運行が継続されているが、現状程度の利用状況であれば、廃止もやむを得ない。

【代替バス対策】不採算路線として廃止された三山口線と細見線について、地域住民の要望により、五十三年四月から市が代替バスを運行している。しかし、マイカー利用、乗り継ぎ不便などで、利用者は当初計画を大きく下回り、年々利用者が減少している。現在、一般市費の投入によって運行が継続されているが、現状程度の利用状況であれば、廃止もやむを得ない。

【市内循環バスの運行】現在の市内循環バスは、運行経路、運行時間帯など、利用者にとって不都合な面が多い。今後、バスターミナル完成時点までには、利用者の要望などを聴き、両バス会社と十分協議し、運行経路、運行時間帯など便利な方向に根本的に改善すべきである。

高齢者のみなさんを対象

人材センター会員を募集

募は中
応今月

の仕事、一般事務、
経理事務、留守番、
子守、家事補助などが
考えられます。
申し込みは、各地
区老人クラブ会長

現在、設立準備を進めているシルバー人材センター(仮称)の会員を募集します。この人材センターは、高齢者のみなさんの豊かな経験や技能、知識を生かせるよう、働く機会をつくり社会参加をしてもら

い、健康増進と生きがいを高めてもらうための新しい試みで、七月で配分金を支払う、という仕組みで、健康

員に仕事をしてもらい、報酬として配分金を支払う、という仕組みで、健康

か、厚生課から申込書を受け取り、一月三十一日(土)までに同課管理係へ。

句碑散歩

⑨

世界みな月雪花のほかになし

岡本 応宇

(上町、観音院前庭)

鳳鳴舎白翁と句碑の裏面に撰文が刻んである。

号した備前岡山の人、名は良碩。句意は芭蕉の「見るところ花にあらず」ということなし。

文化年間しばしば鳥取に来て斯道の普及に努め、境を詠ったもので教訓の世界観ながら句格が大きい。

文化十三年(一一八六)八月、七十八歳没。句碑はそれから六年後、文政五年(一一八二)にその社中によって建立。郷土俳壇に橋本午睡らを育てた功績は大きい。(荻原直正「鳥取俳人史」による)



村尾 草樹



尚徳うたごえ会結成

お年寄りに合唱を楽しんでもらおう、と市社会教育事業団がおおむね六十歳以上のお年寄りに呼びかけていた老人合唱団の団員募集に百九十五人の応募があり、十二月一日、文化ホールで市尚徳うたごえ会として結成式が行われました。写真。

会員は男二十七人、女百六十八人の構成で、松組と梅組に分かれて、文化ホールで毎月三回、二時間の定期練習を続けています。指導は、元米里小学校長の滝河節夫さんと元明徳小教諭の関原照枝さんの二人です。会員の最高齢者の中町、前田荘さん(六五)は「市民合唱団に八年半入っていた。歌うことは健康のためにも大変いい。できるだけ続けたい」と張り切っていました。

市政短信

7回目迎えた市公民館祭 市教委と市公民館連合会が49年度から開いている公民館祭はことして7回目になりました。1年間の公民館活動の成果を市民のみなさんに広く知ってもらおう、というもので、展示会は12月5日から4日間、福祉文化会館で開かれ1200人の市民が見学に訪れました。展示作品は21の地区公民館などから出品されたもので、768人から書道、楽焼、パッチワーク、和紙人形、ちぎり絵、写真、アートフラワー、くみひも、押絵、切り絵、写真など約1300点。



東吉成ポンプ場に着工 駅南地域のうち、吉成、大覚寺などの雨水排水の役割を果たす公共下水道・東吉成ポンプ場にこのほど着工しました。全体計画では、山白川以東、面影山以西で、(新)袋川と大路川にはさまれた区域約156²/₁₀₀の雨水をポンプ6台(排水量毎秒18.78立方³/₁₀₀₀)で排水。今回着工の第1期計画では、排水量毎秒3.13立方³/₁₀₀₀のポンプ1台を備え付け、(東)吉成、大覚寺周辺の約40²/₁₀₀の雨水を排水することにしており、完成は59年度の予定で、総事業費は約6億5000万円。全体計画の完成は、65年度を見込んでいます。

生活物資交換会に300人 市消費者団体連絡協議会は、12月10日、福祉文化会館で恒例の生活物資交換会を開きました。「家庭に眠っている品物を有意義に使う」と、50年から毎年2回開いているもので、今回で12回目。消団連の会員らから持ち寄られた品物は、衣類、各種贈答品を中心に、くつ、おもちゃなど約1000点で、会場に訪れた約300人の市民は、お目当ての品物を買って帰っていました。

6月に海洋センタープール完成 三津地内の湖山池湖畔にある海洋センターで、B&G財団が6月完成を目指してこのほどプールに着工しました。幅13¹/₂(13コース)、長さ25¹/₂の大きさのものです。海洋センター施設としては、現在、艇庫、体育館、武道館があり、プールは四つ目の施設。また、市は、新年度早々にも、海洋センター前にテニスコート2面と1周100¹/₂程度の多目的グラウンドの整備を進め、同じ6月に完成させる計画です。



55年市政十大ニュース 五十五年の市政十大ニュースは十二月六日に開かれた選定会で次の通り決まりました。選定には、市民代表、市政記者、市長ら十二人が当たりました。

①市文化ホール開館、市民図書館とこども文化館にも着工
②市の人口が国勢調査で十三万一千六十人に
③冷夏で農作物に大きな被害
④千代大橋が開通
⑤大和真空工業所など三社の工場進出が相次ぎ、企業誘致が前進
⑥鳥取駅前広場の整備ほぼ完了
⑦鳥取空港ジェット化整備で県が基本調査に着手
⑧七回水道拡張事業が完成
⑨桜ヶ丘中学校が開校
⑩大路川整備と湯所川、古市、東吉成各ポンプ場着工で本格的な治水対策始まる。

交通安全図画コンクール

宮坂映三子さんら入賞

入賞者は次のみなき八点。
入賞者は次のみなき八点。
入賞者は次のみなき八点。

第1位は文化ホール開館

55年市政十大ニュース

五十五年の市政十大ニュースは十二月六日に開かれた選定会で次の通り決まりました。選定には、市民代表、市政記者、市長ら十二人が当たりました。

ことしは国際障害者年

「完全参加と平等」テーマに

ことし（一九八一年）は「国際障害者年」です。五十一年の国連総会で決定された世界的規模の行動で、テーマは、障害をもつ人の社会への「完全参加と平等」です。

障害者とは、病気や事故などのために身体的、精神的な機能が損なわれ、自身自身では通常の個人生活や社会生活

生活を完全に、または部分的に行えない人を言います。本市には、大きく分けて身体障害者約二千九百人、精神薄弱者約二百七十人の計三千七百七十人の障害者がいると推計されています。

平均寿命が延び、高齢化社会が進むにつれて、脳卒中の後遺症などによる障害が増えるとともに、交通事故や労働災害などによる障害者が年々増加する傾向にあります。

障害者問題は、単に障害をもつ人だけでなく、私たち一人一人が自分自身の問題として理解し、幅広い社会的な連帯意識をもって解決していかなければなりません。

障害をもつ人に対する理解と関心を深め、みんなが参加し、みんなが平等に暮らせる、よりよい社会づくりをしようという年——国際障害者年に当たって、みんな考えてみましょう。

この自治学園は、市民のみならず地方自治に関する意識を高めてもらう、と開いたもので、八十九人が受講。八講座以上出席した受講者四十一人には閉講式の席上、金田学園長（市長）が修了証書を手渡しました。皆勤者は、赤

89人が受講

自治学園が閉講

去年五月に開講した二回目的の市民自治学園は、同十二月十七日の「米を中心とした食糧問題」加藤重蔵・市農協組合長」の講座で十六回の全講座を終え、受講生四十一人が出席して閉講式が行われました。

第3回川上奨励賞

亀田正一さんが受賞

川上貞夫顕彰会（米原穂会長）は、三日の川上奨励賞授賞者に永楽温泉町の洋画家、亀田正一さん（四二）を決め、去年十二月八日に表彰しました。

亀田さんは、三十九年から油絵を学び、四十四年に東光展に

われらボランティア

3

「鳥取学生赤十字奉仕団」は、定期的な施設訪問を中心に、献血、点訳、朗読などの活動を続けているグループです。三十六年三月の

園、母子寮、重度心身障害児施設訪問、点訳、朗読の六サークルに分かれて、幅広く活発な活動が続けられています。委員長は、鳥取大二年の藤岡裕晃さん（三三）です。

サークルの一つ、鳥取こども学園サークルは、週二回、同学園を

九人を指導、また、八人の幼児の遊び相手にもなっています。土曜日は午後四時から一時間、ふだん手入れの行き届かない個所の手入れやグラウンドの整備を子供たちと一緒にやっています。写真。

藤岡さんは「待ってられている子供たちの笑顔に励まされる」と話し、赤十字専門学校の小谷恵弥さん（二〇）と竹森しのぶさん（二〇）の二人も「子供たちの笑顔を見るのが楽しい」と話していました。

川上奨励賞は、五十二年七月に亡くなった洋画家、郷土史家の故川上貞夫さんの遺徳をしのんで五十二年七月に結成された川上貞夫顕彰会が設けたもので、郷土の洋画界や文化財研究で功績のあった人が対象となっています。これまでに、国府町立大成中郷土研究部（五十四年二月）と寿町の気高中教諭、西尾富次さん（同年十二月）が受賞しています。

鳥取久松手話サークル

この春 20周年 幅広い活動続ける

結成なので、この三月には結成二十周年を迎えることになりました。

団員は、鳥取大学、鳥取赤十字看護専門学校、県立鳥取看護専門学校の学生のみならず、現在六十五人。鳥取こども学園、積善学

訪問して、入所している児童、生徒の学習指導や、グラウンド整備、畑の手入れなどを行っています。

火曜日が学習指導日。午後六時から一時間、学園の高校生十八人とともに、小学生三十人と中学生十

この学生赤十字奉仕団は、去年十月、幅広い地域社会のための奉仕活動が認められて、市政功労団体として表彰を受けています。

この学生赤十字奉仕団は、去年十月、幅広い地域社会のための奉仕活動が認められて、市政功労団体として表彰を受けています。



鳥取赤十字奉仕団

同和問題 シリーズ

後藤 誠也

▷ 44



同和对策審議会の答申が出されて十六年目の春を迎えました。でも部落の完全解放の春は、まだまだの感があります。ほんとうに今では、部落差別は少なくなっていると言えるでしょうか。

* * *

〈部落解放の日はいつ?〉

同じ日本民族の一部少数の人たちが、人間として憲法に保障されている市民的権利や自由を、不当に制限しようとしてきたのが、部落差別でした。この差別から、部落を解放していくことが、国民すべての課題である、と同対審の答申は述べています。

私たちは、このことをいつまでも忘れてはならないと思います。三年ほど前ですが、米子市のある中学校で行われた研究会の席上で

私は、こんな質問に出会いました。「学校の先生方は、今、一生涯

部落解放 前進のために

重要な心の改善事業

まだ遠い完全解放の春

命に同和教育をなす。一つ一つは別のもののように見えておられます。それは敬意を表するに値することなのです。が、いったい、いつごろになれば、部落差別はなくなる、いや、なくすることが出来る、とお考えなのですか。その点をお教えください」と。

一つ一つは別のもののように見えるものばかりですが、もとをたどれば、みんな過去においてなされた一つの差別が根にあり、それにつながって、それぞれが枝葉の形をとり、私たちの目の前に並んでいるのだ、と言えましょう。ことばで、態度で、行動で差別するのだけが差別ではありません。つまり差別ではなからうと見逃しそ

待は、親の暮らしに規制されます。向学心も、場合によれば、暮らしに押しつぶされてしまいます。同和地区の就業調査をみても義務教育修了だけの人が多く、不安定な肉体的労働で生活している人が多くという実態があります。自分の体を資本として働かねばならない、ということとは、一生かかって自分の体という乏しい資産をすり減らしていくことと変わりはありません。病気やケガの場合でも、十分に治療しないうちに、働かねば生活できなかつたのです。こんなことが、長生きさせなかつたり、子供たちの発達を阻害する要因になつたりしていったのです。

事実を、私たちは無視するわけにはいきません。「なぜ部落だけが……」という発想の根底には、まだ部落を差別してもいいんだ、という気持ちがないとは言えないように思えます。

〈同対事業特措法は……〉

同和对策事業特別措置法は、第三の解放令とも言うべき同対審の答申をうけて、解放をより実質的な形にするため、部落差別のあらゆる実態を把握したうえで、差別の芽を摘みとり、種子をまかないようにすることをねらった、行政措置を定めたものです。

でも、事業が進むにつれて「なぜ部落だけが……」という、逆差別の発想が芽生えてきました。たしかに、被差別部落とあまり変わらない環境条件を持つ地域もありましよう。でも、被差別部落には、人間としての基本的権利や自由が保障されなくていい、という差別の故に、行政が素通りしていた

私たちはさまざまな生活背景と条件を持って生きています。でも、人間であるという点では平等です。「ともに生きる」ことを忘れずに、部落解放へ前進する年にしようで

私たちは、このことをいつまでも忘れてはならないと思います。三年ほど前ですが、米子市のある中学校で行われた研究会の席上で

私は、こんな質問に出会いました。「学校の先生方は、今、一生涯の差別の結果が見えているのです。低いものです。教育への意識や期

(鳥取大学教育学部教授)

健康 ②

市民健康相談

1月は次の日程で乳幼児(生後1~18カ月)と成人を対象に健康相談を行います。近くの会場で受けてください。担当は市の保健婦。

【西品治】9日(金)午前10時~午後3時、隣保館で【古海、下味野】16日(金)午前10時~午後3時、各隣保館で【馬場】16日午前10時~正午、児童館で【円通寺】16日午後1時~3時、児童館で

育児相談

生後1~12カ月の乳幼児を対象に育児相談を行います。毎月第4金曜日の午前9時30分~午後3時30分に、市民健康センター内母子相談コーナー(福祉文化会館2階)で実施。1月は23日です。乳幼児の健康、しつけなどのほか、家族計画についても市の保健婦が指導。(無料)

雪の季節になりました。市は、主な道路については24時間以内に交通を確保することを目標に、除雪態勢を確立しています。



しかし、歩道や除雪機械が使えない道路の除雪については、住民のみなさんご協力をお願いします。特に積雪量によっては、スクールゾーン内にある歩道の除雪を各PTAを中心とした地区のみなさんをお願いすることがあります。ご理解のうえご協力をお願いします。

また、路上に自動車などが放置されている場合には、除雪機械が使えないなど、除雪できない場合があります。特に消火せん、防火水そう付近の駐車は万一のとき、消火活動を遅らせます。自動車の路上放置や消火せん付近の駐車はやめましょう。

●下水汚泥コンポスト利用の意識調査を2月に実施します● 56年度から製造する下水汚泥コンポスト(たい肥)の利用について、2月に農家のみなさんを対象に意識調査を実施する予定です。調査用紙が届きましたら、ご協力をお願いします。

下水汚泥は、し尿などが形を変えたものといってよく、下水処理場で発生する脱水汚泥をコンポスト施設で発酵させ、たい肥としたものです。非常に有機質成分に富み、農地に対して無害で、悪臭がなく、水分が少なく取り扱いやすい、という特長があります。なお、現在建設中のコンポスト施設は、1日約1.5立方メートルの下水汚泥コンポストの製造能力があります。

第3日曜日 家庭の日

所得税の還付申告

今月から受け付けます

一般の所得税の申告(確定申告)は2月16日(月)から3月16日(月)までですが、税金の還付を受けるための申告は1月から受け付けます。次のような人は申告をすると税金が返ってきますので、早めに申告してください。

①サラリーマンで、雑損控除、医療費控除、住宅取得控除などを受けようとする人②55年中に会社などを退職した人でその後就職しなかった人③配当所得があるため配当控除を受けようとする人

なお、確定申告書には次の書類を添付してください。

▷雑損控除=損害を受けた住宅や家財の明細書▷医療費控除=支払った医療費の領収書▷住宅取得控除=建築確認通知書の写し、登記簿謄本、住民票の写し▷サラリーマンの場合=給与所得の源泉徴収票

申告は、鳥取税務署(東町2丁目、☎22-2141)か、市民税課市民税係へ。

●給与支払報告書の提出● 55年中に従業員に給料の支払いをした会社や個人商店などの事業主は、給与支払報告書を1月31日(土)までに市民税課に提出してください。

相談

1、2月の法律相談

弁護士による法律相談を行っています。相続、遺産、土地の売買や登記、家族問題などで困っている人は利用してください。申し込みは、電話か直接、各担当事務局へ。(無料)

【市政室担当】相談時間は午後1時~4時。相談場所は市民相談室(市役所1階)。申し込み先は市政室市民生活班。定員10人。

相談日 1月14日(水)
2月16日(月)

【市社会福祉協議会担当】相談時間は午前10時~午後3時。相談場所は市社協協内の心配ごと相談所(福祉文化会館1階)。申し込み先は市社協協(☎24-3180)。定員8人。

相談日 1月19日(月)
2月16日(月)

人権困りごと相談

市人権擁護委員と法務局相談担当職員による「人権困りごと相談」を行います。騒音などの公害や、家庭のもめごと、不当な差別など、人権にかかわる困りごとのある人は、気軽に相談してください。(無料)

相談日 1月22日(木)午後1時~4時
ところ 県社会教育福祉会館2階(扇町)

〔訂正〕本紙12月号の新生委員紹介のうち、日進地区に掲載の原弘道さん(吉方温泉4丁目)と山根初枝さん(同)は、修立地区の誤りでしたので訂正します。

国民年金 20歳になったら加入しましょう

市は現在、国民年金加入促進運動を実施しています。国民年金制度は、20歳から60歳までの人で厚生年金、船員保険、各種共済組合など他の公的年金制度に入っていない人が対象となる年金制度です。

国民年金は老後の所得保障だけでなく、障害年金や母子年金など、思いがけない事故などにあったときの保障も行われます。保険料は1カ月3770円(4月から4500円)です。

問い合わせは、保険年金課年金係へ。

募集

市報題字デザイン、漫画

「とっとり市報」のデザインと市報に掲載する漫画を募集します。題字デザインは、現在のものと同程度の大きさで、白画用紙に黒一色で描いてください。漫画は、題材、コマ数、紙とも自由、黒一色で。題字デザインの応募締め切りは2月21日(当日消印有効)、採用作品発表は本紙4月号で。漫画はいつでも受け付け。応募は市政室へ。採用作品には記念品を贈呈。

「鳥取文芸」掲載作品

市社会教育事業団は年1回発行する「鳥取文芸」第3号に掲載する作品を次の通り7部門で募集しています。

【部門と点数】創作=1人1編(400字×50枚以内)▷評論=1人1編(400字×30枚以内)▷随筆=1人1編(400字×10枚以内)▷詩=1人1編(400字×3枚以内)▷短歌=1人5首以内▷俳句=1人5句以内▷川柳=1人5句以内。未発表のものに限る。

【応募原稿】短歌、俳句、川柳は官製はがきを、創作、評論、随筆、詩は市販の400字詰原稿用紙(B4判)を使い、部門、住所、氏名、年齢を明記してください。

【応募資格】市周辺に住んでいるか、勤務先のある人

【締め切り】2月10日(当日消印有効)

【あて先、問い合わせ】尚徳町116、市教委社会教育課内、財団法人鳥取市社会教育事業団事務局(☎22-8111)

歩こう会

歩こう会の1月例会は次の通りで、目的地は松上神社。昼食と水筒は持って行ってください。だれでも参加できます。…が歩行区間。

【とき】1月11日(日)【コース】集合・午前8時35分に鳥取駅前日交バス停→出発・同8時50分→松上…松上神社…明治地区公民館…上段→野坂→鳥取駅(午後3時31分)

(交通費は500円)

展覧会 ~1月~

○現代版画への招待展/10~20日/画廊ビーナス○備前山本出作陶展/15~20日/鳥取大丸3階美術画廊

健康 ①

三種混合予防接種

(第2期)

三種混合予防接種(ジフテリア、百日ぜき、破傷風)の第2期接種を次の日程で行います。母子手帳の予診票に記入して持ってきてください。**519(無料)**



受ける人=昭和53年1月1日~8月31日に生まれた幼児と、第1期接種済み幼児で第2期接種を受けていない5歳6カ月までの幼児。なお、2月24日(火)と3月24日(火)に全市補足を実施しますので、53年8月31日以前に生まれた4歳未満の幼児で、第1期接種を受けていない場合は、この機会に3週間の間隔で3回受けさせてください。

時間=津ノ井、米里、浜坂、末恒、湖

南、美和、神戸、大正、賀露、倉田の10校区は午後1時30分~2時30分、他の校区は午後1時30分~3時。

校区	接種場所	接種日
面影	面影地区公民館	1月20日(火)
浜坂	浜坂地区公民館	1月21日(水)
醇風、富梁、城北	福祉文化会館	1月22日(木)
末恒	末恒地区公民館	1月23日(金)
湖南	旧湖南地区公民館	1月26日(月)
稲葉山、日進、遷喬	福祉文化会館	1月26日(月)
美和、神戸	美和小学校	1月27日(火)
世紀、明治	世紀小学校	1月27日(火)
久松、明德、修立	福祉文化会館	1月28日(水)
大正	大正地区公民館	1月29日(木)
賀露	賀露地区公民館	1月29日(木)
倉田	倉田地区公民館	1月30日(金)
美保	美保地区公民館	1月30日(金)
湖山	湖山地区公民館	2月3日(火)
津ノ井、米里	津ノ井地区公民館	1月29日(木)

休日在宅当番医

1月と2月初めの休日在宅当番医は次の通りです。診療時間は午後6時~9時。

とき	病院名	ところ	でんわ
1月1日	尾崎内科医院	立川町2丁目	23-3366
	竹内内科小児科医院	本町5丁目	22-2317
1月2日	安田医院	青葉町1丁目	23-1117
	竹田内科医院	本町2丁目	22-4320
1月3日	上村整形外科医院	戎町	23-0569
	ヤスタ内科医院	湯所町2丁目	23-0792
1月4日	芦川外科医院	田園町4丁目	23-0666
	坂本医院	元町	22-6612
1月11日	田村医院	掛出町	23-1057
	早瀬医院	川端5丁目	23-3357
1月15日	岸田内科医院	立川町2丁目	22-4050
	北村医院	湯所町2丁目	22-4660
1月18日	吉田医院	瓦町	22-2434
	清水内科医院	吉方町1丁目	29-0231
1月25日	藤崎医院	本町4丁目	22-4420
	安陪内科医院	吉方温泉3丁目	26-6675
2月1日	桜井医院	立川町2丁目	22-4728
	田中医院	浜坂	27-0121
2月8日	原医院	吉方町1丁目	22-3613
	高整形外科	吉成	53-3375
2月11日	小橋医院	吉方町2丁目	22-2630
	福田整形外科	材木町	26-5121

休日急患診療所

日曜日や祝日など休日に急病人が出たとき、患者が安心して治療を受けられるように、と富安1丁目の県東部医師会付属准看護高等専修学校内(南中学校横)に「休日急患診療所」=☎24-0888=が設けられています。

診療時間は午前9時~午後5時です。

年始の歯科診療

(午前9時~正午、1月1日休診)

とき	医院名	ところ	でんわ
1月2日	坂口歯科病院	元魚町2丁目	26-0415
1月3日	竹内歯科医院	新町	22-2522

乳幼児検診

次の日程で6カ月児と1歳6カ月児の健康診査を行います。会場は福祉文化会館。対象児のある家庭へは検診日を連絡しますので、受診させていただきます。問い合わせは厚生課保健衛生係へ。(無料)

検診名	該当者	検診日	時間
6カ月児検診	昭和55年7月生まれ	1月13日(火)	午後1時~3時
		1月14日(水)	
1歳6カ月児検診	昭和54年7月生まれ	1月20日(火)	午後1時~2時30分
		1月21日(水)	
		1月22日(木)	

3歳児検診

1月の3歳児検診は52年7月生まれの幼児を対象に行います。対象幼児のある家庭へは、1月20日ごろ、検診日時、場所を連絡しますので、受診させていただきます。問い合わせは、鳥取保健所(江津、県立中央病院隣、☎22-5161)へ。(無料)

ガン検診

次の日程で胃ガン検診を行います。希望者は厚生課保健衛生係に申し込んでください。ただし、胃の切除手術をした人と妊婦は受診できません。(無料) 受付時間=午前8時30分~10時30分

地区	検診日	検診場所
浜坂	1月19日(月)	浜坂地区公民館
	1月20日(火)	醇風小学校
1月21日(水)		

子宮ガンの受診申し込み(対象は30歳以上の人)はいつでも厚生課保健衛生係で受け付けています。(無料)

成人病検診

在宅市民を対象に、市民健康センター(福祉文化会館2階)で成人病検診を行います。医師による診察のほか、血圧、尿、血液比重、肥満度などの検査を実施します。定員は60人。無料。2月の実施日は13日(金)午後1時~3時です。受診申し込みは厚生課保健衛生係へ。

休日救急医療担当病院

1月と2月初めの休日救急医療担当病院は次の通りです。入院・治療をしなければならない重症救急患者を受け入れます。4病院とも内・外科系。診療時間は午前8時30分~翌日同8時30分。

【1月】1日=県立中央病院(☎26-2271)▷2日=市立病院(☎23-6211)▷3日=鳥取生協病院(☎24-7251)▷4日=鳥取赤十字病院(☎24-8111)▷11日=市立病院▷15日=中央病院▷18日=生協病院▷25日=赤十字病院

【2月】1日=市立病院▷8日=中央病院



市民税、国保料の

第4期支払い月です

催しもの

- 【市民会館】 ☎24-9411
 - 15日 成人の日のつどい
 - 21日 渡辺貞夫ジャズコンサート(有)
 - 25日 お正月子供映画会(有)
- 【文化ホール】 ☎27-5181
 - 10日 鳥取名画鑑賞会例会、1953年アメリカ映画「ローマの休日」(有)
 - 18日 ピアノ発表会
 - 24日 市民集会「津ノ井ニュータウンを考える」
 - 25日 ピアノおきらい会
- 【市民体育館】 ☎24-5222
 - 10、11日 市インドア硬式庭球選手権
 - 17日 市小体連卓球大会
 - 18日 県選抜インドア軟式庭球選手権
 - 24、25日 市インドア硬式庭球選手権
 - 31、翌日 同上
- 【県社会教育福祉会館】 ☎27-5252
 - 24日 鳥取大落語研究会発表会(有) ~ (有)は有料です~

成人の日のつどい

新成人を祝う市民の会は、1月15日の成人の日に市民会館で「成人の日のつどい」を開きます。時間は正午~午後2時30分。パネル・ディスカッション「ヤングの言いたい放題」、森田公一とトップギャランコンサート、コーヒーの無料サービス、着付けアドバイス、茶席、もちつき、占い、愛の献血など楽しい催しが計画されています。

●1月の名画鑑賞会例会案内●

1953年アメリカ映画

「ローマの休日」

とき=1月10日(土) 午後2時、6時(2回)
ところ=文化ホール(☎27-5181)
会費=500円(入会金は200円)